

地震対策



するときに 知っておいてほしい事

■阪神・淡路大震災の室内の状況

平成 7 年の阪神・淡路大震災では、家具が転倒し食器棚から食器が飛び出して散乱していたことによって、逃げ遅れたり室内でケガを負った方も大勢いました。

■災害時に想定される室内(台所)の様子

食器棚が倒れ
食器類が粉碎する



倒壊により窓ガラス
や釘が散乱する



雨や水漏れなどで
床が塗れる



■停電してしまえば真っ暗…

もし災害発生時が夜の場合、停電してしまえば室内は真っ暗になります。そんな中でガラスや尖ったものがどこに散乱しているのか把握するのは難しいです。

スリッパを準備していたとしても底が薄い物であれば突き刺さって破れる可能性があります。

ですので今一度、災害が発生した際の足元の安全を考えてみてください。



■災害発生時の足を守るために

徳武産業 防災ルームシューズ

品番:201493



- ・ 釘や破片などから足裏を保護する
踏抜き防止材内臓
- ・ つま先まで開いて足入れしやすく
マジックで微調整可能
- ・ 普段履きできるシンプルデザイン

